

「高き神にのみ み栄えを帰して BWV715」

「イースターおめでとうございます。」

今回はバッハによってアレンジされたコラールを紹介します。原曲は、ニコラス・デチウス(Nikolaus Decius, 1485－1550)がラテン語からドイツ語訳し、さらに、彼自身よってメロディーがつけられたものです。新生讃美歌78番にあります。1525年に作曲された、世界中のキリスト教会で今もなお愛唱されている讃美歌です。

そのメロディをもとに、素敵なアレンジをしたのが今回演奏するバッハの作品です。随所に華やかなパッセージをちりばめつつ、原曲のメロディをたどります。晴れ晴れとした、明朗で壮大な響きのなかに、「高き神にこそ栄光あれ」という力強い賛美が私たちの心に湧きあふれてきます。

高き神にのみ み栄えを帰して 感謝を捧げよ 恵み深き主に
争いしずめて われらを歡ぶ 平和のみ神を

新生讃美歌78番 (c)日本バプテスト連盟

